

「法学研究者養成の危機と打開の方策— 法学研究・法学教育の再構築を目指して—」

法科大学院設立後、法学系研究大学院への進学者の減少、研究大学院における研究指導体制の弱体化など、法学研究者養成に困難な状況が生じています。

このシンポジウムでは、こうした事態の打開方策について問題提起を素材に検討を深めることを狙いとしています。

また、東日本大震災を経験した法学研究のあり方についても議論が行われることを期待しています。

◆日時 平成23年 **8月2日** (火) **13:30~17:30**

◆場所 **日本学術会議会議室**

(東京都港区六本木7-22-34 ☎03(3403)5706)

【プログラム】

- 司会：磯村 保(日本学術会議第一部会員、法学系大学院分科会委員、神戸大学教授)
- 開会挨拶：淡路 剛久(日本学術会議第一部会員、法学系大学院分科会委員、早稲田大学教授)
- 基調講演：奥田 昌道(日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、京都大学名誉教授)

■ 日本学術会議の取組の経過と現段階

戒能 通厚(日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、名古屋大学名誉教授)

■ 「法学研究者の養成に関するアンケート」調査結果報告

愛敬 浩二(日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会幹事、名古屋大学教授)

■ 個別大学における取組みと問題点

山本 敬三(日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、京都大学教授)

浦川道太郎(日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、早稲田大学教授)

長谷川 晃(日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、北海道大学教授)

■ 学会における取組みと問題点

松井 芳郎(日本学術会議連携会員、「グローバル化と法」分科会委員、立命館大学教授)

■ 全体コメント

河野 正憲(日本学術会議第一部会員、法学分野の参照基準検討分科会委員長、福岡大学教授)

■ 議論のまとめと今後の方向について

広渡 清吾(日本学術会議会長、法学系大学院分科会委員長、専修大学教授)

○ 閉会挨拶

滝澤 正(日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会副委員長、上智大学教授)

◆主催 日本学術会議法学委員会・法学系大学院分科会

◆共催 日本学術会議大学教育の分野別質保証推進委員会法学分野の参照基準検討分科会

※ **一般公開・入場無料**

【本件連絡先】 03-3403-5706（第一部担当：齋藤）